



# Jeff先生と Let's learn the world!



みなさん、こんにちは。梅雨があけたら少しは過ごしやすくなると思いきや、今度は猛烈な暑さがやってきました。湿気が少なくなったものの、気温が35度を上回ると気分が上がらないですね。私の家の寝室には、今までエアコンが無く、我慢してきましたが、今年は限界になり、ついに購入してしまいました。電気代が高くなりましたが、夜が過ごしやすくなったので、購入した甲斐はあったかなと思います。

いよいよアメリカの大統領選挙です。トランプ大統領もバイデン元副大統領もテレビ CM や電話キャンペーン等で戦っています。さて、みなさんはアメリカの大統領選挙の制度について、どのくらい把握していますか？日本は議院内閣制なので、全く違うといっても過言ではありません。

まず、政党ごとに大統領候補を選びます。アメリカでは主な政党は2つあります、民主党と共和党です。ほかに政党はありますが、それほど支持されていないので選挙になると2人の候補から選ぶこととなります。ただし、単に票数で決まるわけではありません。最終的に大統領を選ぶのは州ごとに選ばれる選挙人団になります。

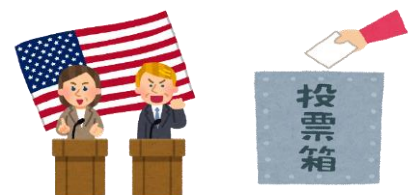
アメリカは元々統一の国家というより13の国（州）の連合国に近い存在でした。それぞれの州に政府、軍隊、銀行、通貨などがありました。その13の州を統一するにあたって、建国の父たちはいくつかの問題を予期しました。（その一つは、州の人口格差です。）例えば4つの州、A州、B州、C州とD州があるとします。A州の人口が1万人で、B州とC州とD州はそれぞれ3千人とします。選挙となると、A州の方が圧倒的に有利です。大統領候補はA州のことだけを考えて、他の州のニーズを気にしなくても票を獲得できます。極端な例えを挙げると、A州の税率を下げて、他の州の税率をあげよう！なんて政策は考えられなくもないのです。

そういった問題を防ぐために、建国の父たちは一つの州が有利にならないように選挙人団を設立しました。まずは一般選挙で登録が済まされている国民が投票します。しかし、それは直接、大統領候補への投票ではなく、選挙人（その大統領候補に投票を入れると誓約する人）への投票となります。州ごとの人口によって選挙人数は決められています。現在で最も多いのはカリフォルニア州（55人）で、最も少ないのはネブラスカ州、ワイオミング州など8つの州（3人）です。州で最も票数を得た大統領候補はその州の選挙人分の投票を得ることになります。

ほとんどの場合は一般選挙で最大の票数を得る候補が選挙人団にも勝つのですが、一般選挙で負けた候補が選挙人団に勝ったことがアメリカの250年の歴史の中で4回だけあります。一番最近なのは2016年の選挙です。一般選挙ではクリントン氏がおおよそ300万の票差で勝利したにも関わらず、トランプ氏は多くの州に支持され、選挙人団では304-227の差で（トランプ氏が）勝利しました。その結果、民主党からは「選挙人団をなくそう！」という声はしばしば聞くようになりました。これからも選挙人団は大きな焦点になるかもしれません。

アメリカの選挙制度について理解していただけましたでしょうか？選挙人団はやはりアメリカのような広くて様々な文化が混ざっている国に適していると思います。みなさんはどう思いますか？日本に選挙人団みたいな制度は合っていると思いますか？では、また今度。

ージェフ



## 塾のコンビニ！英語塾